

- 問1

1873年に朝鮮への使節派遣をめぐる「征韓論」の対立で大久保利通らと意見が合わず、政府を去った板垣退助が、1874年に政府へ提出した書面について述べた文として正しいものはどれですか。(2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 藩閥政治を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を強く求めた民撰議院設立建白書

2. 欧米の進んだ制度を取り入れるため、岩倉具視を代表とする使節団の派遣を求めた建議書

3. 武士の特権を廃止し、国民に兵役の義務を課すことを求めた徴兵告諭

4. 天皇を中心とした中央集権体制を確立するため、藩を廃止して県を置くことを求めた廃藩置県令
- 問2

明治初期、征韓論をめぐって下野した西郷隆盛を中心に、鹿児島県の士族らが明治政府に対して起こした、日本最大規模の士族反乱を何と呼びますか。(2026年 徳島県公立入試 類似)

1. 戊辰戦争

2. 生麦事件

3. 西南戦争

4. 大政奉還
- 問3

産業革命期の日本とイギリスにおける共通の社会状況について説明した文章として、最も適切なものはどれですか。(2025年 千葉県公立入試 類似)

1. 全ての国民が平等な権利を持つことが徹底され、階級による格差が完全に解消された。

2. 労働環境の悪化や貧困などの社会問題に対抗するため、労働組合の結成や社会主義思想の出現が見られた。

3. 農業中心の社会から脱却したことで、労働時間の大幅な短縮と児童の保護が最初から実現された。

4. 政府が世界恐慌対策として、公共事業を拡大して失業者を救済する二ユーディール政策を実施した。
- 問4

明治政府は、欧米の進んだ技術を導入して日本の近代化を推し進める「殖産興業」政策の一環として、1872年に群馬県に官営模範工場を設立しました。フランス人技師を招き、最新の機械を備えて設立されたこの工場の名称を次の中から選びなさい。(2024年 山形県公立入試 類似)

1. 三菱長崎造船所

2. 大阪紡績会社

3. 富岡製糸場

4. 八幡製鉄所
- 問5

大日本帝国憲法の公布（1889年）から、第一次世界大戦後のベルサイユ条約調印（1919年）までの時期に日本で起こった出来事として、正しいものはどれですか。(2023年 埼玉県公立入試 類似)

1. 官営の八幡製鉄所が設立され、日本の産業において重工業が発展するきっかけとなった。

2. 国家総動員法が制定され、戦争のために国民や物資を強制的に動員する体制が整えられた。

3. 普通選挙法が制定され、満25歳以上のすべての男子に選挙権が与えられるようになった。

4. 鹿鳴館が建設され、欧米諸国に日本の近代化を示すための外交政策が活発に行われた。
- 問6

1880年代の明治政府において、外務卿の井上馨を中心に行われた、欧米の生活様式を積極的に取り入れることで日本の近代化を対外的にアピールしようとした政策を何といいますか。(2016年 佐賀県公立入試 類似)

1. 殖産興業政策

2. 富国強兵

3. 欧化政策

4. 文明開化
- 問7

明治政府が官営模範工場である富岡製糸場を設立した背景や目的についての説明として、最も適切なものを選びなさい。(2025年 大阪府公立入試 類似)

1. 民間企業に払い下げをを前提として、重工業の発展を主導するための造船技術を海外から取り入れようとした。

2. 欧米から輸入した最新の機械を使い、品質の安定した生糸を大量生産することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとした。

3. 大規模な鉱山開発を政府主導で行い、銅などの鉱物資源を輸出することで産業革命の資金源を確保しようとした。

4. 日清戦争の賠償金を活用して、軍事力の強化に不可欠な鉄鋼を国内で自給自足できる体制を整えようとした。
- 問8

1870年から1880年の期間は、日本では明治政府による近代化政策が急速に進められた時期にあたります。この時期に「文明開化」の象徴として行われた事業として正しいものはどれですか。(2019年 秋田県公立入試 類似)

1. 新しい情報伝達手段としてのラジオ放送の開始

2. 北九州での八幡製鉄所の操業開始

3. 新橋・横浜間での鉄道の開通

4. 過酷な労働環境を改善するための工場法の制定
- 問9

田中正造が足尾銅山鉱毒事件をめぐり、国会などで政府を厳しく批判した理由として、当時の社会背景をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。(2021年 鳥根県公立入試 類似)

1. 富国強兵や産業の発展を優先し、農民の生活や健康に甚大な被害を与えている政府の姿勢を問題視したから。

2. 銅の生産と輸出をさらに増やすため、鉱山の管理権を民間から政府へ移すべきだと考えたから。

3. 鉱山で働く労働者の賃金を引き上げ、欧米並みの労働環境を整えることが近代化の条件だと主張したから。

4. 渡良瀬川の氾濫を防ぐための治水工事を中断し、その予算を軍事費に回すよう提案するため。
- 問10

1894年に発生した甲午農民戦争が、なぜ日本と清の間の戦争（日清戦争）を引き起こすことになったのか、その経緯として最も適切な説明を選びなさい。(2018年 徳島県公立入試 類似)

1. 朝鮮政府の要請で出兵した清に対し、日本も自国の権益維持などを名目に出兵し、朝鮮の主導権をめぐって両国が対立したため。

2. 朝鮮でキリスト教勢力を排除しようとする義和団が暴動を起こし、日本と清を含む列強諸国が北京へ連合軍を派遣したため。

3. ロシアの南下政策に対抗するため、日本と清が共同で朝鮮半島を軍事占領しようとしたところ、現地で農民の激しい抵抗を受けたため。

4. 清で発生した辛亥革命によって東アジアの情勢が不安定になり、朝鮮を保護しようとした日本軍と清の軍隊が衝突したため。
- 問11

明治政府が群馬県に官営模範工場である富岡製糸場を建設した背景と、その経営上の意図として最も適切な記述はどれですか。(2019年 岡山県公立入試 類似)

1. 国内の綿織物産業を保護するため、政府が原材料となる綿花の栽培から製品の輸出までを一貫して管理するため。

2. 日清戦争の賠償金を活用して、軍事力強化に必要な鉄鋼を自給自足できる体制を整えるため。

3. 欧米の機械技術と外国人指導者を導入し、模範的な経営を行うことで、日本各地に近代的な製糸技術を普及させるため。

4. 開国以降、急速に流入した安価な外国産の生糸に対抗するため、政府が独占的に製造・販売を行うため。
- 問12

1874年に板垣退助や後藤象二郎らが政府へ提出した、一部の藩出身者による独裁的な政治を批判し、公選の議員による議会の開設を求めた文書を何といいますか。(2024年 香川県公立入試 類似)

1. 民撰議院設立の建白書

2. 王政復古の大号令

3. 大日本帝国憲法

4. 五箇条の御誓文
- 問13

1911年に起きた革命によって、約300年続いた清が滅亡し、アジアで初めての共和制国家が成立しました。このとき南京を首都として建国された新しい国家の名称を答えてください。(2019年 新潟県公立入試 類似)

1. 大韓帝国

2. 満洲国

3. 中華民国

4. 中華人民共和国

答え合わせ・解説

問1	答え 1 藩閥政治を批判し、国民が選んだ議員による議会の開設を強く求めた民撰議院設立建白書	明治政府内で実権を握っていた一部の藩（薩摩・長州など）による藩閥政治を批判し、国民の意見を政治に反映させるために国会の開設を求めたものです。この建白書の提出が、のちの自由民権運動の出発点となりました。
問2	答え 3 西南戦争	明治政府の政策に不満を持つ士族による反乱が各地で起こる中、1877年に西郷隆盛を中心として鹿児島県で起こった最大規模の反乱を西南戦争といいます。この反乱が鎮圧されたことで、士族による武力反乱は終わりを告げました。
問3	答え 2 労働環境の悪化や貧困などの社会問題に対抗するため、労働組合の結成や社会主義思想の出現が見られた。	産業革命の初期段階では、利益を優先するあまり労働者の生活が軽視される傾向にありました。このため、労働条件の改善を求める運動が活発になり、法律の整備や新たな思想の誕生へと繋がりました。ニューディール政策は1930年代のアメリカの政策であるため、産業革命期の記述としては誤りです。
問4	答え 3 富岡製糸場	明治政府は外貨を獲得するために、当時日本の主要な輸出製品であった生糸の品質向上と増産を目指しました。そのために、フランスの技術を取り入れた模範工場として群馬県に富岡製糸場を建設しました。ここでは全国から工女が集められ、習得した技術を各地に持ち帰ることで、日本の製糸業の近代化に大きく貢献しました。
問5	答え 1 官営の八幡製鉄所が設立され、日本の産業において重工業が発展するきっかけとなった。	八幡製鉄所の操業開始は1901年であり、日清戦争（1894-95年）と日露戦争（1904-05年）の間の時期にあたります。鹿鳴館の建設は憲法公布前の1883年、普通選挙法の制定は1925年、国家総動員法の制定は日中戦争開始後の1938年であるため、1889年から1919年の間に該当するのは八幡製鉄所の設立となります。
問6	答え 3 欧化政策	明治政府は、幕末に結ばれた不平等条約の改正を悲願としていました。このため、日本が欧米に引けを取らない近代的な文明国家であることを諸外国に示す必要があり、西洋の生活習慣やマナーを導入する政策がとられました。この一連の動きを欧化政策と呼びます。明治初期の自然な文化流入を指す「文明開化」とは、政府による意図的な政策であるという点で区別されます。
問7	答え 2 欧米から輸入した最新の機械を使い、品質の安定した生糸を大量生産することで、近代化に必要な外貨を獲得しようとした。	明治初期、日本の主要な輸出商品は生糸でしたが、手作業による生産では品質にばらつきがありました。政府は「官営模範工場」として富岡製糸場を建設し、フランスから指導者を招いて機械による均一な品質の生糸を増産できる体制を整えました。これにより、海外市場で通用する生糸を輸出し、日本の近代化に必要な資金（外貨）を得ることができました。
問8	答え 3 新橋・横浜間での鉄道の開通	明治政府は「殖産興業」を推し進めるため、欧米の技術を積極的に導入しました。1872年（明治5年）にはイギリスの支援を受けて、新橋・横浜間に日本初の鉄道が開通しました。これは人や物の移動を劇的に変え、日本の近代化を象徴する出来事となりました。八幡製鉄所の操業（1901年）や工場法の制定（1911年）は明治後期、ラジオ放送の開始（1925年）は大正時代の出来事であるため、1870年代の出来事としては鉄道開通が適切です。
問9	答え 1 富国強兵や産業の発展を優先し、農民の生活や健康に甚大な被害を与えている政府の姿勢を問題視したから。	明治政府は近代化のための外貨獲得手段として銅の輸出を重視しており、足尾銅山は重要な産業拠点でした。そのため、鉱毒被害が明らかになっても操業停止などの抜本的な対策を避け、産業発展を優先しました。田中正造は、国民の生命や財産を守るべき政府が、産業（資本家）を優先して犠牲を強いている矛盾を鋭く追及しました。
問10	答え 1 朝鮮政府の要請で出兵した清に対し、日本も自国の権益維持などを名目に出兵し、朝鮮の主導権をめぐる両国が対立したため。	甲午農民戦争が勃発した際、朝鮮政府は宗主国である清に援軍を求めました。これに対し、日本も1885年の天津条約に基づいて出兵を決定しました。農民軍と朝鮮政府の間に和約が成立した後も、日本と清は朝鮮の改革や主導権をめぐる撤退せず、そのまま戦争へと発展しました。他の選択肢にある義和団事件（1900年）や辛亥革命（1911年）は、日清戦争よりも後に起こった出来事です。
問11	答え 3 欧米の機械技術と外国人指導者を導入し、模範的な経営を行うことで、日本各地に近代的な製糸技術を普及させるため。	当時の日本にとって、生糸は外貨を稼ぐための極めて重要な輸出商品でした。政府は国際競争力を高めるために、フランスから技術者のポール・ブリュナを招き、最新の機械を備えた工場を運営しました。ここで技術を学んだ多くの工女たちが全国の工場へ戻り、指導的な役割を果たすことで、日本の軽工業全体のレベルが底上げされました。
問12	答え 1 民撰議院設立の建白書	征韓論をめぐる政争（明治六年の政変）に敗れて政府を去った板垣退助らが、薩摩藩や長州藩などの有力藩出身者が権力を独占している状況を批判して提出しました。この出来事は、その後の自由民権運動が本格化するきっかけとなりました。
問13	答え 3 中華民国	1911年の辛亥革命を経て、翌1912年に中華民国が成立しました。これにより、それまでの皇帝による専制政治が終わり、主権が国民にあるとする共和制がアジアで初めて導入されました。中華人民共和国は1949年に成立した別の国家であり、辛亥革命の時点では存在しません。